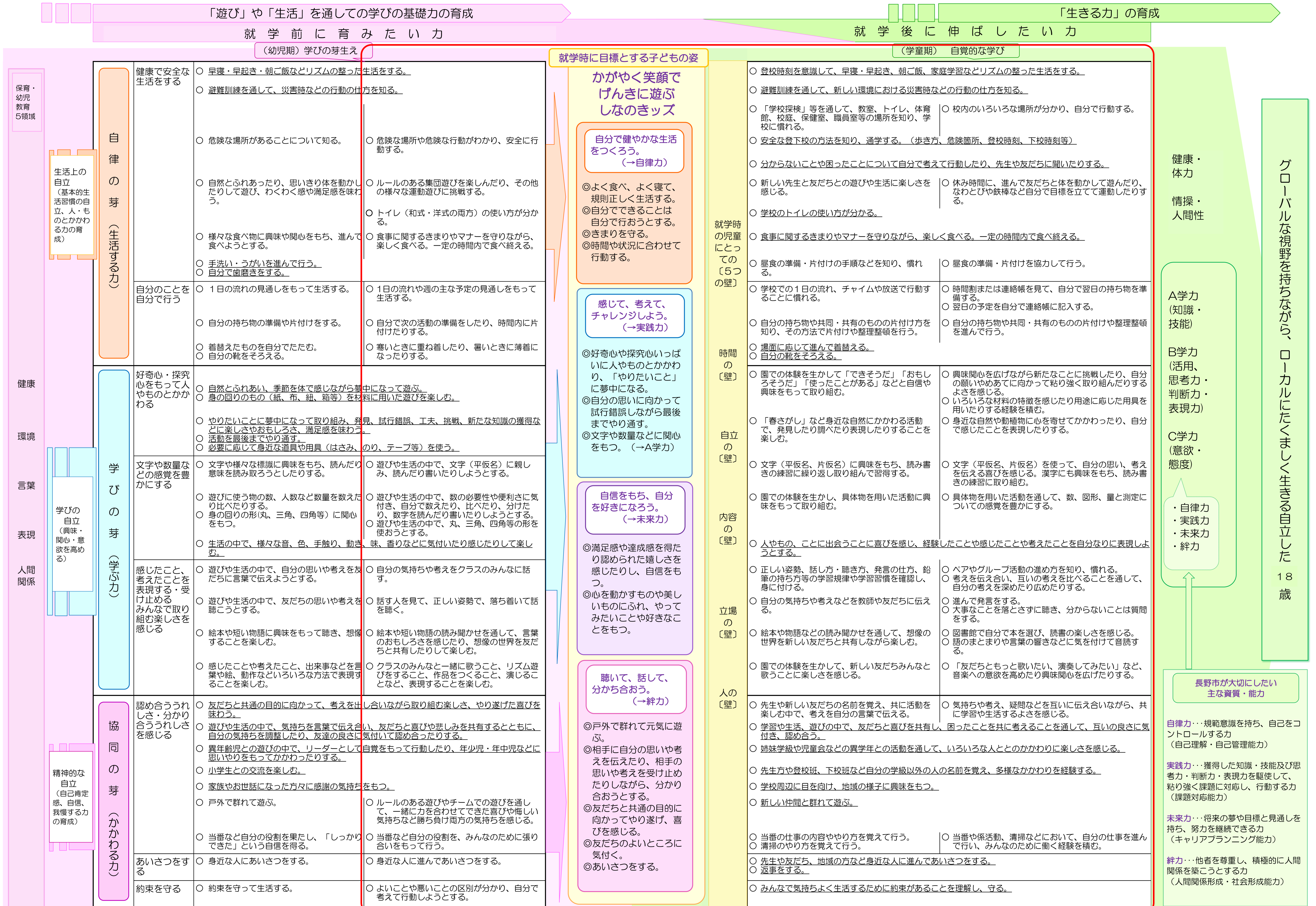


子どもの「育ちをつなぐ」ために幼保小で共有したい3つの【観】：「子ども観」（子どもは「自ら育っていくとする存在」）・「遊び・学び観」（「自己決定」に基づく「試行錯誤」による「自己実現」）・「支援観」（「そこにいる」「信じて待つ」「関心を寄せて見守る」という支援）
就学時の児童にとっての5つの「壁」をなくそうとするのではなく、教師が「壁」を意識して、子どもが「壁」を乗り越えていく可能性の芽を引き出す支援、「壁」を成長のチャンスと捉えた支援に努めましょう。



* 赤枠内について・・・近隣の幼稚園・保育所・小学校において、接続期カリキュラム（アプローチ・スタートカリキュラム）を作成し、相互理解を図りながら枠内の力を育てています。* 下線部について・・・年長時のはじめから、または、就学時から育み身につくようにしたい力を示しています。